

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 102

1961. 2月 (3月5日)

録 事

2月4日 原田研究員の帰任歓迎会を番所山ハワイアンで開催，英国での生活について話があった。

2月6～14日 市施委員・高松研究員は中海方面へ生物調査のため出張。

2月8日 南委員母堂（和田つね殿）が逝去されたので，香奠 おくり，謹んでお悔み申し上げた。

2月10日 南委員母堂（故和田つね殿の御妹南りゆう殿）が2日後に逝去され，引きつづいての御不幸に謹んでお悔み申し上げた。

2月12日 原田研究員は中海方面の生物調査のため出張，3月上旬帰所の予定。

2月15日 山路委員は中海方面の生物調査・多奈川火力発電所取水路の付着生物調査のため 月末 まで出張。

2月28日 臨時費予算をもってかねてより試作中の多網式円筒フランクトン採集機第二型が完成し，大阪金属工業K.K.より送り届けられた。

業 務 概 況

◎ 2月入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計		
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計	
水族館発売	個人	10444	96573	190	6142	10634	102715
	団体	23478	206983	—	—	23478	206983
交通公社発売	11924	87352	—	—	11924	87352	
明光バス発売	22072	226010	126	7444	22198	233454	
合 計	67918	616918	316	13586	68234	630504	
無 料	大阪国際興業バスガイド他				26	1625	

団 体：一般 387組, 学生 0組 合計 387組

◎ 2月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1,231,716	10,991,476
{ 窓口売上	604,869	5,328,026
{ 交通公社クーポン	203,557	1,429,250
{ 明光バス観光券	423,290	4,234,200
予金・積立金利息	—	461,885
手数料	59,456	542,279
絵はがき帯下	31,330	345,390
パンフレット帯下	480	65,110
魚 類 帯 下	—	200
雑 收 入	455	5,435
諸施設改善積立金より繰入	—	1,707,279
合 計	1,323,437	14,119,054
※ 明光バス観光券未収分	大人券	25272枚
	小人券	148枚

◎ 2月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	203,621	1,573,314	
会議費	4,956	136,320	
備品費	10,630	498,510	ストーヴ他
消耗費	26,966	354,250	
事業費	46,068	547,084	
維持費	19,356	336,727	
其他諸経費	78,000	1,117,326	原田研究員歓迎会費, 南委員へ御香料
積立金	259,409	2,324,721	
合 計	649,006	6,888,252	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	128,011	
奨 学 金	—	60,000	
備 品 費	5,328	182,536	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	859,983	
役 務 費	—	123,370	
合 計	5,328	1,353,900	

伝物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	74,230	560,719	
備 品 費	36,490	61,690	暗幕設備、玻璃海绵
消 耗 費	—	2,350	
役 務 費	—	8,980	
合 計	110,720	633,739	

臨時費

摘 要	金 額	累 計
円筒式フランクトン採集機試作費	46,500	
合 計	46,500	2,610,161

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	649,006	6,888,252
実験所経費	5,328	1,353,900
伝物館経費	110,720	633,739
臨時費	46,500	2,610,161
合 計	811,554	11,486,052

◎ 2月末現在高

前月よりの繰越	2,121,119
今月の収入合計	1,323,437
今月の支出合計	811,554
現 在 高	2,633,002

◎ 前年度との比較

	1960	1961	増 減
入 場 者 数	68906	68234	- 672

水族館記事

- ◎ タカアシガニが17日に入槽した。例年のように南部から購入したもので、甲長22.0cm、甲幅19.2cm、第二脚長57.4cm、すでに産卵がおわり、また体表にヒメエボシの寄生も少い。N0.26ふかん水槽で飼育中である。
- ◎ スシボリナヌカザメが13日から月末にかけて7個体入槽した。全長約95~107cmのもの。
- ◎ クマノミが8日、21日に2個体死亡した。後者のものは中旬に水温が非常に下り、今冬最低の水温を記録したこと、それに対して適切な飼育の処置をしなかったことが原因であろう。
- ◎ 屋外ウミカメアールのアカウミガメが上旬に1個体、下旬に2個体、計3個体死亡した。水温の低下が原因と考えられる。残存個体数5個体。
- ◎ マダコが先月にひきつづいて3個体入槽した。21日、23日に2個体生き残っている。
- ◎ 1昨年8月20日に約100個体入槽して飼育していたマアジは1月末に3個体生きていたが、今月中に全滅した。マアジを1年6ヶ月飼育し、越冬に成功したのは今回がはじめてであった。
- ◎ オトヒメエビ1個体が死亡した。昨年7月以降飼育中のもの。
- ◎ マツカサウオが6日に1個体入槽した。先月から飼育しているものとあわせて2個体。
- ◎ 2月28日現在、観覧水槽に收容飼育中の動物は総計135種、1847個体以上でその内訳は次の通り。

カイメン類	1種、	蔓脚類	2種、	ウミシタ類	1種、
ヒドロ虫類	2種、	エビ類	6種、	ヒトデ類	5種、
ウミトサカ類	1種、	ヤドカリ類	4種、	ウニ類	9種、
ヤギ類	3種、	カニ類	5種、	ナマコ類	1種、
イソギンチャク類	6種、	ニ枚貝類	3種、	ホヤ類	1種、
イシサンゴ類	6種、	巻貝類	17種、	軟骨魚類	6種、
ハナギンチャク類	1種、	アメフラシ類	3種、	硬骨魚類	45種、
多毛類	2種、	タコ類	1種、	カメ類	3種、
カストガニ類	1種、				

伝物館記事

- ◎ 毎年、トロール網操業の時期に南部堺の漁業組合に因立った底曳採集動物の収集保存を依頼しているが、今期それによって入手したもののうち、困ばしいものは次の通りである。

ソコアマダイモドキ、タテシマヤッコ、トウジン、イヌカサゴ、ルリハタ、アラ及び不明の糞1種。他にトラフカラツパ及びノコギリガニの蟹2種。

- ◎ なお、湯崎沖、70～80 尋のところ、堺のトロール船日吉丸が2月10日に引き上げた直至18cmもある兎串な硝子海綿1体を手にした。調べの結果、これは日本では初めての六放海綿の一種と判明したので、これに大王海綿なる新株を付すつもりである。共に伝物館の展示品の一部に加えた。

資 料

- ◎ 2月の気象 (9時観測)
南水稽室 (水温・比重はNO.27水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴天日数(20)	6	7	7
室温(°C)	$\frac{6.1 \sim 12.5}{9.7}$	$\frac{7.0 \sim 11.2}{9.9}$	$\frac{11.0 \sim 13.0}{12.3}$
水温(°C)	$\frac{11.45 \sim 13.35}{12.24}$	$\frac{10.41 \sim 12.37}{11.22}$	$\frac{11.96 \sim 13.52}{12.94}$
比重(σ_{15})	$\frac{25.44 \sim 25.79}{25.68}$	$\frac{25.28 \sim 25.65}{25.47}$	$\frac{25.74 \sim 25.94}{25.80}$

取入口

水温(°C)	$\frac{12.20 \sim 15.20}{13.89}$	$\frac{10.98 \sim 13.81}{12.12}$	$\frac{14.01 \sim 15.81}{14.84}$
比重(σ_{15})	$\frac{25.72 \sim 26.00}{25.80}$	$\frac{25.08 \sim 25.72}{25.46}$	$\frac{25.72 \sim 25.99}{25.89}$

来 訪 録

2月21日 京都大学地球物理学教室岡司助教、防災研究所樋口助平は江津良沖の海上観測塔建設工事打合わせのため来所。

2月21日 水族館増築工事案中の電気設備について打合わせのため、施工者大林組建設部設備課員3名来所。 — (75) —

